

製品名: CD22 (リン酸化 Tyr807) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04396**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	95kDa

抗原情報

遺伝子名	CD22
別名	CD22; SIGLEC2; B-cell receptor CD22; B-lymphocyte cell adhesion molecule; BL-CAM; Sialic acid-binding Ig-like lectin 2; Siglec-2; T-cell surface antigen Leu-14; CD antigen CD22
遺伝子 ID	933.0
SwissProt ID	P20273
免疫原	抗血清は、ヒト BL-CAM 由来の Tyr807 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 776-825

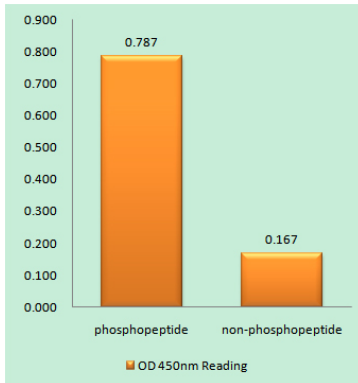
背景

代替製品:追加のアイソフォームが存在するようです。ドメイン:免疫受容体チロシンベースインヒビターモチーフ (ITIM) と呼ばれる細胞質モチーフの4つのコピーを含みます。このモチーフは細胞応答の調整に関与しています。リン酸化 ITIM モチーフは、いくつかの SH2 含有ホスファターゼの SH2 ドメインに結合できます。機能:B 細胞間相互作用を媒介します。リンパ組織における B 細胞の局在に関与している可能性があります。シアリル化糖タンパク質に結合し、そのうちの 1 つが CD45 です。α-2,6-結合シアリン酸に優先的に結合します。シアリン酸認識部位は、同じ細胞表面上のシアリン酸とのシス相互作用によってマスクされる可能性があります。免疫応答におけるリガンド誘導チロシンリン酸化により、B 細胞抗原受容体シグナリングの調節に関与しているようです。Src ファミリーチロシンキナーゼとの相互作用を通じて正の調節に役割を果たし、また、シグナル伝達分子の脱リン酸化を通じてシグナル伝達を阻害する SH2 ドメインを介して細胞質ホスファターゼをリクルートすることで、阻害受容体としても機能する可能性がある。、オンライン情報:Siglec-2,オンライン情報:Siglec-2 [3 Fc ドメイン],PTM:LYN によってチロシン残基がリン酸化される。、PTM:Tyr-762、Tyr-807、および Tyr-822 のリン酸化は、それぞれ SYK、GRB2、および SYK への結合に関与する。Tyr-842 のリン酸化は、SYK、PLCG2、および PIK3R1/PIK3R2 への結合に関与する。、類似性:免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。SIGLEC (シアリン酸結合 Ig 様レクチン) ファミリー。、類似性: Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含む。、類似性: Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 6 つ含む。、サブユニット:主にアイソフォーム CD22-beta の単量体。また、アイソフォーム CD22-beta のヘテロ二量体およびより短いアイソフォームとしても存在する。リン酸化により PTPN6/SHP-1、LYN、SYK、PIK3R1/PIK3R2、および PLCG1 と相互作用する。リン酸化により GRB2、INPP5D、および SHC1 と相互作用する (類似性による)。INPP5D/SHIP、GRB2、および SHC1 と複合体を形成する可能性がある。、組織特異性:B リンパ球。、代替産物:追加のアイソフォームが存在すると思われる。、ドメイン:免疫受容体チロシン阻害因子モチーフ (ITIM) と呼ばれる細胞質モチーフの4つのコピーを含む。このモチーフは細胞応答の調整に関与している。リン酸化 ITIM モチーフは、いくつかの SH2 含有ホスファターゼの SH2 ドメインに結合できる。機能:B 細胞間相互作用を媒介する。リンパ組織における B 細胞の局在に関与している可能性がある。シアリル化糖タンパク質に結合し、その 1 つが CD45 である。α-2,6 結合シアリン酸に優先的に結合します。シアリン酸認識部位は、同じ細胞表面上のシアリン酸とのシス相互作用によってマスクされる可能性があります。免疫応答においてリガンド誘導性チロシンリン酸化は、B 細胞抗原受容体シグナル伝達の調節に関与していると考えられる。Src ファミリーチロシンキナーゼとの相互作用を介して正の調節に関与するほか、シグナル伝達分子の脱リン酸化を介してシグナル伝達を阻害する SH2 ドメインを介して細胞質ホスファターゼをリクルートすることで、阻害受容体としても機能する可能性がある。、オンライン情報: Siglec-2,オンライン情報: Siglec-2 [3 Fc ドメイン],PTM: LYN によってチロシン残基がリン酸化される。、PTM: Tyr-762、Tyr-807、および Tyr-822 のリン酸化は、それぞれ SYK、GRB2、および SYK への結合に関与する。Tyr-842 のリン酸化は、SYK、PLCG2、および PIK3R1/PIK3R2 への結合に関与しています。、類似性:免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。SIGLEC (シアリン酸結合 Ig 様レクチン) ファミリー。、類似性:1 つの Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、類似性:6 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、サブユニット:主にアイソフォーム CD22-beta のモノマーです。また、アイソフォーム CD22-beta のヘテロダイマーおよびより短いアイソフォームとしても見られます。リン酸化されると、PTPN6/SHP-1、LYN、SYK、PIK3R1/PIK3R2、および PLCG1 と相互作用します。リン酸化されると、GRB2、INPP5D、および SHC1 と相互作用します (類似性による)。INPP5D/SHIP、GRB2、SHC1 と複合体を形成する可能性がある。、組織特異性:B リンパ球。、

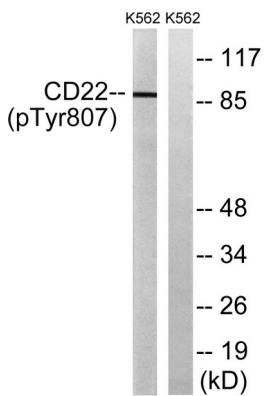
研究分野

細胞接着分子 (CAM) ;造血細胞系統;B 細胞抗原;

画像データ



BL-CAM (リン酸化 Tyr807) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



Na₃VO₄ 0.3nM 40' で処理した K562 細胞ライセートの BL-CAM (リン酸化 Tyr807) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。